

# SANSUI

# AU- $\alpha$ SERIES

$\alpha$ -X BALANCE INTEGRATED AMPLIFIER / INTEGRATED DC AMPLIFIER

AU- $\alpha$ 907/AU- $\alpha$ 707/AU- $\alpha$ 607/AU- $\alpha$ 507







音楽に近づきたい。音楽に懐深く抱かれたい。だから、  
アンプの使命は、音楽の鼓動を美しく、豊かに膨らませること。  
ピュア伝送技術の頂点 $\alpha$ -Xバランスサーキット。  
振動・ノイズを遮断するソリッド・シャーシ。  
アンプ創りの伝統技術を結集した超重量級電源。  
そして、溢れる気品に輝くグロッシェ・ブラックが、次世代オーディオの到来を予見させる。  
音極点をめざして、AU- $\alpha$ シリーズの新たな神話がいま、幕を開ける。





24 22 20 18 16 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

VOLUME/-dB

CD LINE TUNER PHONO

TAPE-3 TAPE-2 TAPE-1 < TAPE/DAT

LOUDNESS

PROCESSOR MM/MC

☐ MM ☒ MC

UTING

BALANCE

SOURCE DIRECT

POWER AMP DIRECT

BALANCED INTEGRATED NORMAL

REC SELECTOR

TUNER OFF SOURCE

DIRECT (NORM) 1-2-3

2-1-3

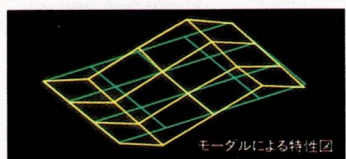
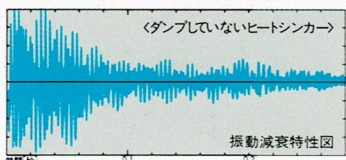
0-X BALANCED CIRCUIT

RIGHT

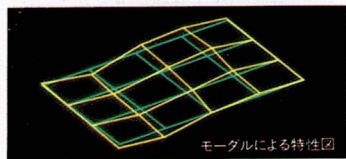
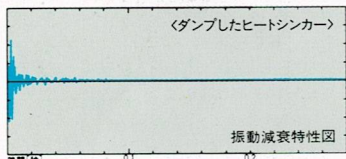




(振動対策を施した大型ヒートシンカー)ダンパ材を介してソリッド・シャーシに固定。優れたヒートシンクと低振動を実現。



モーターによる特性  
[従来のダンパしていないヒートシンカーの振動解析] 振幅が大きく、しかもなかなか減衰しません。



モーターによる特性  
[AU-αシリーズのダンパしたヒートシンカーの振動解析] 振幅が小さく、すぐに減衰しています。

CD、DAT、そしてこの先どんなフォーマットが出現しても、アンプのポジションが変わることはないでしょう。つまり、いかなるミュージック・ソースも、サウンド・クオリティを十分に引き出せる優れたアンプに出会ってこそ、その真価を発揮できるのです。デジタル・オーディオの高度な再生に焦点を合わせたツイン・モノ(独立対称)コンストラクション、ソリッド・シャーシ、 $\alpha$ -X バランスサーキット、パワーアンプダイレクト。フロントパネルは、研磨、塗装、焼付技術の粋を集めて丹念に仕上げたサンスイのアルミ材グロッシー・ブラック。まず、AU- $\alpha$ 907の音をお聴きください。惜しみなく投入した技術の意義、そしてそれらが生み出す音楽の素晴らしさを、きっとご理解いただけるでしょう。

#### デジタル時代のピュア伝送・増幅を実現する $\alpha$ -X バランスサーキット。

⊕側と⊖側の信号をアースから完全に独立させ、⊕側、⊖側をそれぞれ伝送・増幅するのが $\alpha$ -X バランスサーキットです。AU- $\alpha$ 907ではこの $\alpha$ -X バランス構成を、信号、NFB、電源回路に採用し、徹底したピュア伝送・増幅を志向しています。そのうえ、 $\alpha$ -X バランスサーキットは、スピーカーの⊕側、⊖側を各々専用のアンプでドライブするので、従来のアンプとは異なりスピーカーの動きをアンプ側で制御できます。

#### サンスイ伝統のアンプ・テクノロジーが光る 超重量級 $\alpha$ -X バランス電源。

CDの広大なDレンジと力感ある重低音を増幅するためには、ピュアでパワフルなエネルギーが必要不可欠です。サンスイは電源部にまで $\alpha$ -X バランス技術を投入し、密閉式超大型電源トランスとグレート・ピュアフォーカス/HS・コンデンサーを採用。重低音もラクに再生する安定したエネルギーを供給します。しかも、ピュアな電源がアンプ全体のS/N感を引き上げています。

#### 専用開発した6連マスターボリューム搭載の パワーアンプダイレクト。

入力信号をパワーアンプに直結するパワーアンプダイレクトを装備。プリメインアンプ用2連、そして、音質的に有利な低インピーダンス型ダイレクト・ポジション用4連、トータル6連ボリュームを専用開発。サウンド・クオリティを損なわない伝送・増幅を可能にしました。

#### アンプ全体の剛性を高め、 ノイズからも守るソリッド・シャーシ。

AU- $\alpha$ 907ではL、Rのツイン・モノ・コンストラクションを採用し、かつ振動・ノイズから守る専用のソリッド・シャーシを開発。高いシールド効果とアンプ全体の高剛性化で、電磁波ノイズと外来振動を大幅にカットしています。

#### すべてのソースを $\alpha$ -X バランス伝送。 この思想から生まれたソース・ダイレクト。

アクセサリ回路を通過せずに、 $\alpha$ -X バランスサーキットに直結するソース・ダイレクト。すべてのソースをピュア伝送・増幅します。ソース・ダイレクト時にも、音質を劣化させずにトーンコントロールを使用できます。

# 聴くほどに、浸るほどに。音楽の素晴らし



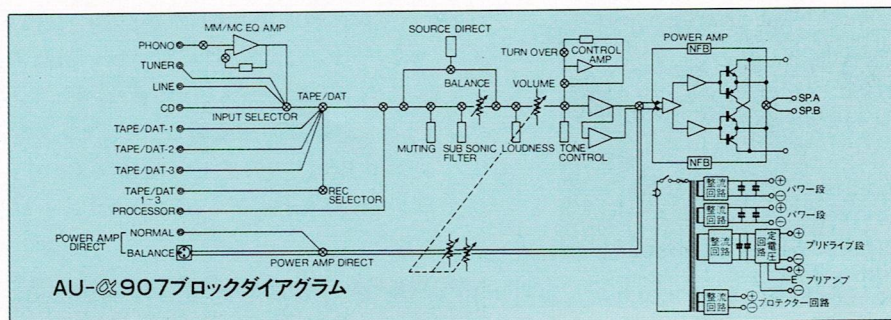


### 荷重の黄金分割の役割をする。 サンセイ独自のCF5インシュレーター。

振動を抑えるCF5(シャシー・フィクスト・5点支持)インシュレーターを採用。コンプライアンスを持つ第5のインシュレーターを重心付近に配置しました。ボンネットにもCF12(シャシー・フィクスト・12点留め)ボンネットを使用し、振動の侵入に万全の布陣を敷いています。

### アナログディスクの対応も充分に考えた ディスクリフト・フォノイコライザー。

アナログディスクの再生にもDレンジ、S/N感を追求し、フォノイコライザーは選抜されたパーツのみを使用したディスクリフト構成を採用。FET差動2段、トータル5段という、他に例を見ない豪華な構成にしています。アナログディスクの対応も充分に考えたディスクリフト・フォノイコライザーが、アナログディスクならではの音楽の味わいを、深く、細やかに描きます。

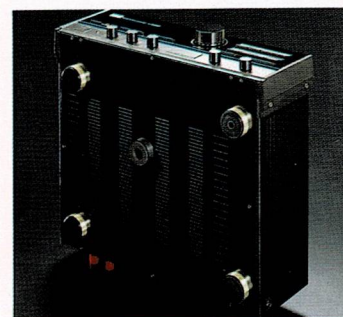


【その他の特徴】 ●10系統もの入力を装備。〔CD、PHONO、TUNER、LINE、TAPE/DAT-1・2・3、PROCESSOR、POWER AMP DIRECT (BALANCED、NORMAL)〕 ●75Hzと150Hzのターンオーバー。スーパーベースコントロールも可能なディフューズ付トーンコントロール。 ●金メッキ入力端子〔PHONO、CD、TAPE/DAT-1、POWER AMP DIRECT (NORMAL)〕。 ●大型スピーカーターミナル。 ●極性表示付極太電源コード/ACアウトレット。 ●スピーカー・ポジションは、OFF、A、B、A+B。 ●OFFポジション付RECセレクトター。 ●パネルはアルミ材を使用したグロッシー&ヘアラインです。

# AU-α907

α-X BALANCE  
INTEGRATED AMPLIFIER  
標準価格 ¥198,000  
190W+190W (6Ω)

〔パワー・アンプ部〕 ●実効出力(10Hz~20kHz、両ch駆動)/190W+190W (6Ω)、160W+160W (8Ω) ●全高調波歪率(実効出力時)/0.003%以下(8Ω) ●混変調歪率/0.003%以下(8Ω) ●ダンピングファクター/100 (6Ω) ●周波数特性(1W)/DC~300kHz(+0dB、-3dB) ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz)/1V/5kΩ (NORMAL)、1V/5kΩ (BALANCE) ●SN比(Aネットワーク)/120dB以上 ●TIM歪(SAWTOOTH)/測定限界以下 ●スルーレイト/±200V/μsec (6Ω) ●ライズタイム/0.5μsec (イコライザー部) ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz) PHONO (MM)/2.5mV (47kΩ)、PHONO (MC)/300μV (100Ω)、TUNER、CD、LINE、PROCESSOR/150mV (47kΩ)、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/150mV (47kΩ) ●PHONO最大許容入力PHONO (MM、新IHF、THD0.01%) /210mV、PHONO (MC、新IHF、THD0.1%) /21mV ●周波数特性(1W時) PHONO (MM)/20Hz~20kHz(±0.2dB)、CD、LINE、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/1Hz~300kHz(+0dB、-3dB) ●SN比(1W時) PHONO (MM)/88dB以上、PHONO (MC)/70dB以上、TUNER、LINE、CD/110dB以上、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/110dB以上 ●トーンコントロールBASS最大変化量/±5dB (50Hz)、TREBLE最大変化量/±5dB (15kHz) ●ターンオーバー周波数/75Hz、150Hz、7kHz ●サブソニック・フィルター/16Hz (-3dB、6dB/oct) ●ラウドネス/+8dB (50Hz)、+6dB (10kHz) (その他) ●定格消費電力/370W ●寸法/448(W)×160(H)×441(D)mm ●重量/28.0kg



〔メカニカル・アースをとるCF5インシュレーター〕



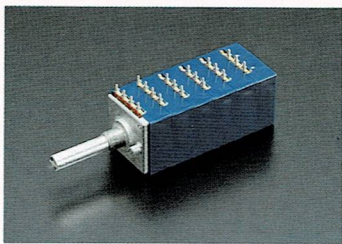
〔アンプ・テクノロジーが光る超重量級電源部〕

さを、思い出させてくれる。





〔超重量級電源トランス、ピュア・フォーカス・コンデンサー、ゴールド・サプライ・コンデンサー〕



〔新開発6連ボリューム〕パワーアンプダイレクト時に超ローインピーダンスで信号を受けられます。



〔ツイン表示のマスターボリューム〕パネルにはプリメイン用、ツマミにはダイレクト用を表示。

音楽ソースが高純度化するにつれ、アンプにもピュア伝送・増幅が要求されます。AU-α707は、デジタル・サウンドをこの上なくピュアに伝送・増幅するα-Xバランスサーキットを搭載し、この要求に見事に応えています。CDプレーヤーとのサウンド・インターフェイスを高めるα-Xバランス入力も装備。さらに、サンスイならではの超重量級α-Xバランス電源でパワフルかつクリーンなエネルギー供給を実現し、アンプ全体のS/N感を大幅にレベルアップ。デジタル・サウンドの情景をきめ細やかな解像度で描き、先進のオーディオ・テクノロジーがもたらす痛いほど鮮やかな音楽であなたを包みます。

#### デジタル・サウンドのサーキットはこうありたい。 α-Xバランスサーキット。

従来のアンプは⊖側の信号をアースと兼用しており、アースラインから流れ込んでくるノイズが信号に混入し、デジタル・サウンドのせつかくのS/N感を劣化させる原因になっていました。これを根本的に解決したのが、サーキット・テクノロジーの集大成とも言えるα-Xバランスサーキットです。アースとは別の回路で⊕側と⊖側の信号を伝送・増幅。驚くほどの高S/N感を獲得するとともに、スピーカーのドライブ能力も向上しています。

#### ソースをピュアなまま受け取り、増幅する パワーアンプダイレクト。

CDプレーヤーからの入力をパワーアンプの直前に引き込むパワーアンプダイレクト。使用感に優れたプリメイン用と同軸の低インピーダンス型6連ボリュームで、ピュア伝送・増幅の最適化を図っています。マスターボリュームツマミにはパワーアンプダイレクト用の目盛りを、パネルにはプリメインアンプとしての目盛りを表示するツイン方式を採用しています。

#### CDプレーヤーとのインターフェイスをとる α-Xバランス入力端子。

サンスイのCDプレーヤー、CD-α907、CD-α707のα-Xバランス出力をしっかりと受けとめるα-Xバランス入力端子を装備。この入力信号をα-Xバランス伝送しますので、ノイズの入り込む余地はもはやありません。

#### 電源経路のノイズを遮断する超重量級 α-Xバランス電源。

アンプの心臓と言える電源部には、安定したスピーカードライブを得るため、超重量級電源トランス、ピュア・フォーカス・コンデンサー、ゴールド・サプライ・コンデンサーを採用。しかも、α-Xバランス構成のため、ノイズのないクリーンなエネルギーを送出します。

#### 近未来の建築物を見る思いだ。 3次元で振動/ノイズを制するソリッド・シャーンシ。

振動対策もノイズ対策も、部分的な施策では根本的な解決は望めません。外部パネルの内側に剛性の高いセパレーターを設置し、アンプ全体の高剛性化、電磁波ノイズカットを実現したのがソリッド・シャーンシです。

# まるで生まれたての音。痛いほど鮮やか



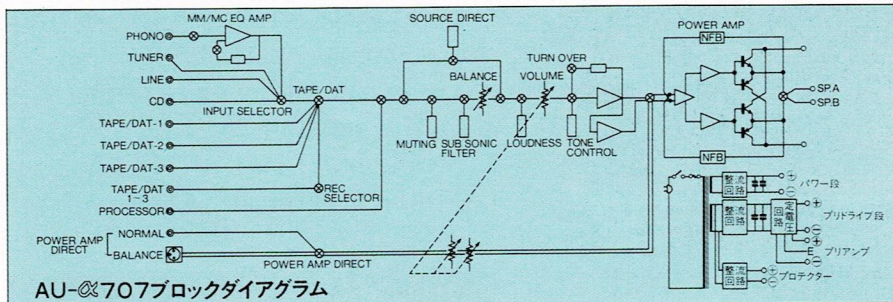


### アンプを支え、メカニカル・アースをとる CF5インシュレーター。

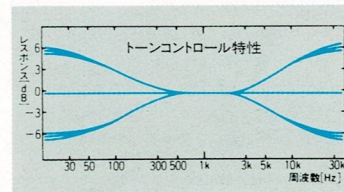
ソリッド・シャーシにしっかりと固定され、しかも、重量が集中する電源部付近に、コンプライアンスのある第5のインシュレーターを配したCF5インシュレーター。荷重を効果的に分配して、アンプをしっかりと支えます。

### 剛性にこだわるとボンネットの留め方も おろそかにできない。CF12ボンネット。

スピーカーからの音圧を受け、振動による悪影響を生じやすいボンネットを大型ネジ12本で留めたCF12 (シャーシ・フィクスト・12点留め) ボンネット。剛性の背骨となるソリッド・シャーシにボンネットをしっかりと固定し、アンプ全体の剛性を向上させています。内部はソリッド・シャーシで、下部はCF5インシュレーターで、上部はCF12ボンネットとで振動対策は万全。揺がない構造から揺がない感動をもたらす音楽が誕生します。



(その他の特徴) ●10系統の入力(CD, PHONO(MM・MC), TUNER, LINE, TAPE/DAT-1・2・3, PROCESSOR, POWER AMP DIRECT(BALANCED, NORMAL)) ●ソース・ダイレクト ●ターンオーバー付きトーンコントロール。 ●金メッキ入力端子 (PHONO, CD, TAPE/DAT-1, POWER AMP DIRECT (NORMAL)) ●大型スピーカーターミナル。 ●極性表示付電源コード/ACアウトレット。 ●スピーカー・ポジションは、OFF、A、B、A+B。 ●OFFポジション付RECセレクター。 ●FET入力のMM/MC入力フォノ・イコライザー。 ●パネルはアルミ材を使用したグロッシェ&ヘアラインです。

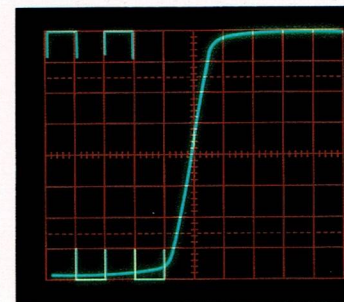


〔微妙な調整が可能なトーンコントロール特性〕  
レンジ幅を狭めた精度の高いトーンコントロール。

# AU-α707

α-X BALANCE  
INTEGRATED AMPLIFIER  
標準価格 ¥129,000  
160W+160W(6Ω)

〔パワーアンプ部〕 ●実効出力(10Hz~20kHz, 両ch駆動)/160W+160W(6Ω), 130W+130W(8Ω) ●全周波数特性(実効出力時)/0.003%以下(8Ω) ●混変調歪率/0.003%以下(8Ω) ●ダンピングファクター/100(6Ω) ●周波数特性(1W)/DC~300kHz(+0dB, -3dB) ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz)/1V/5kΩ(NORMAL), 1V/5kΩ(BALANCE) ●SN比(Aネットワーク)/120dB以上 ●TIM歪(SAWTOOTH)/測定限界以下 ●スルーレイト/±200V/μsec ●ライズタイム/0.5μsec [イコライザー部] ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz) PHONO(MM)/2.5mV(47kΩ), PHONO(MC)/300μV(100Ω), TUNER, CD, LINE, PROCESSOR/150mV(47kΩ), TAPE PLAY/DAT-1, 2, 3/150mV(47kΩ) ●PHONO最大許容入力PHONO(MM, 新IHF, THD0.01%)/210mV, PHONO(MC, 新IHF, TKD0.1%)/21mV ●周波数特性(1W時) PHONO(MM)/20Hz~20kHz(±0.2dB), CD, LINE, TAPE PLAY/DAT-1, 2, 3/1Hz~300kHz(+0dB, -3dB) ●SN比(1W時) PHONO(MM)/88dB以上, PHONO(MC)/70dB以上, TUNER, LINE, CD/110dB以上, TAPE PLAY/DAT-1, 2, 3/110dB以上 ●トーンコントロールBASS最大変化量/±5dB(50Hz), TREBLE最大変化量/±5dB(15kHz) ●ターンオーバー周波数/75Hz, 150Hz, 7kHz ●サブソニック・フィルター/16Hz(-3dB, 6dB/oct) ●ラウドネス/±8dB(50Hz), ±6dB(10kHz) [その他] ●定格消費電力/320W ●寸法/448(W)×160(H)×441(D)mm ●重量/20.3kg



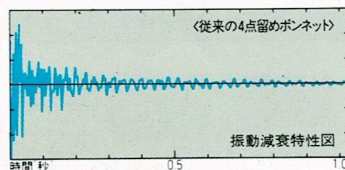
〔200V/μsecという驚異のスルーレート特性〕立ち上がり、立ち下がりの良い「キレのイイ」音を実現。

だ。

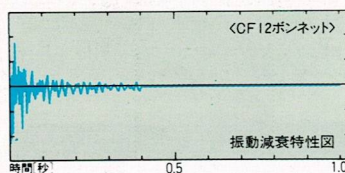




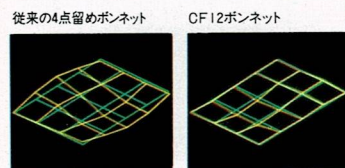
〔CF12ボンネット〕 ボンネット上部は大型ネジ6本で堅固に固定し、音圧による共振を防止します。



〔従来の4点留めのボンネットの振動減衰特性〕大きな振動が長く残存し、音質劣化の原因となります。



〔CF12ボンネットの振動減衰特性〕かつてない振動減衰特性を実現し、振動による音質劣化を排除。



〔ボンネットのモーダル解析比較〕CF12ボンネットは、振動を最小限に抑えます。(当社比)

CDサウンドにも時代とともに音質の差が現われ、アンプの能力が改めて問われています。本格的デジタル対応アンプ、AU-α607に搭載したソリッド・シャーシは、クリアなソースをクリアなまま再生するために生まれました。振動で音を汚さないために、従来のように部分的な剛性化を図るのではなく、アンプ全体を高剛性構造にするという全く新しいコンセプトで設計。同時に、優れたシールド特性で電磁波ノイズをカットしています。さらに、α-Xバランスサーキットを搭載し、デジタル時代のピュア伝送・増幅を実現。CDに刻み込まれたダイナミック・サウンドを極限まで再現し、ミュージシャンの想いを色鮮やかに蘇らせます。

#### 優れたスピーカードライブ能力、 ピュア伝送をもたらす α-X バランスサーキット。

入口から出口まで⊕側、⊖側信号をアースから独立させて伝送・増幅するα-Xバランスサーキット。⊕側だけでスピーカーをドライブする従来のアンプとは異なり、⊕側、⊖側同じ条件で駆動する理想のスピーカードライブを実現しました。同時に、CDのクオリティを生かすピュア伝送・増幅も達成。α-Xバランスサーキットは、最先端技術に支えられた感動の音楽を奏でます。

#### 電源からのノイズをキャンセルする 超重量級 α-X バランス電源。

電源部は、デジタルサウンドをパワフルに、そしてクリアに再生するための大切なパートです。AU-α607では超重量級トランスとグレイト・サプライ・コンデンサーを採用し、音楽の情景を雄大に描きます。さらに、α-Xバランス電源にすることでクリーンなパワーの供給に成功し、アンプ全体のS/N感を飛躍的に向上させています。一瞬のフォルテシモに込められた気迫を、ゆとりある電源部があますところなく、パワフルに表現します。

#### CDサウンドをピュアなまま伝送する ソース・ダイレクト。

ピュアなソースはそのまの伝送が理想。このコンセプトを見事に実現したのがソース・ダイレクトです。通常入力の状態からスイッチを切換えるだけで、アクセサリ回路を経由せずにα-Xバランスサーキットに入力信号を直結することができます。音楽信号を大切に扱うサンスイのオーディオ・コンセプトが、現実のサーキットとして具体的な形になりました。

#### もはや振動が入り込む隙はない。 振動対策に3つのニューテクノロジーを結集。

ソリッド・シャーシ／シャーシを、パーツを支える器と見なすのではなく、振動・ノイズ対策の面から見直す。こうして生まれたソリッド・シャーシは、電磁波ノイズを3重にカットし、アンプ全体の剛性も高めます。CF5インシュレーター／各インシュレーターの荷重が不均一だと、共振が起こりやすくなります。そこで、電源部付近にメカニカル・アース効果があり、コンプライアンスを持つ第5のインシュレーターを配しました。

# 音の行間を読める。見えなかった情感





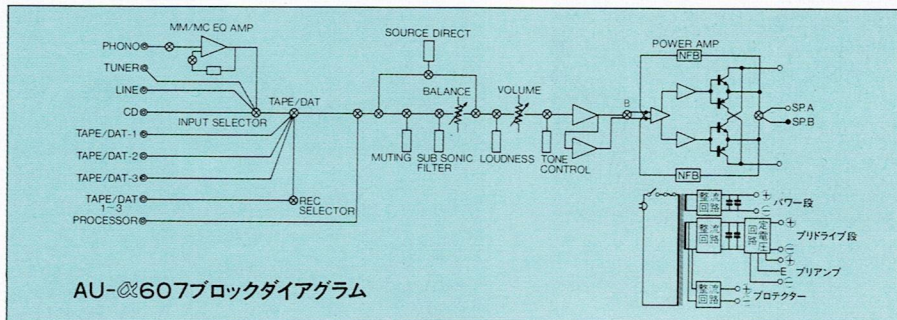
CF12ボンネット／共振が起こりやすいボンネットを12本の大型ネジでソリッド・シャーシに固定したCF12ボンネット。振動が入り込む隙をなくし、ソースの音像を歪みなく鮮明に定位することを徹底追求しました。

**パーツの理想ポジションを徹底追求した構造学。そして、必然の内美感。**

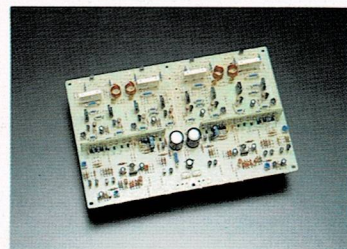
各パーツは、信号の伝送・増幅がハイ・クオリティで行なわれる理想ポジションに設置。そして、理想の伝送増幅設計思想は、必然の内美感を生み出しています。ボンネットをはずすと、美しい構造学が広がります。

**フラットな状態へもすぐに切換え可能。ディフート付のトーンコントロール機能。**

BASS、TREBLEのポジションはそのまま、トーン・スイッチを切換えるだけですぐにフラットな音を聴くことができます。トーンコントロールをかけた状態とフラットな状態の比較試聴も、簡単に行なえます。



(その他の特徴) ●8系統もの入力を装備。〔CD、PHONO (MM・MC)、TUNER、LINE、TAPE/DAT-1・2・3、PROCESSOR〕 ●接触抵抗による音質劣化を防ぐ金メッキ入力端子〔CD、PHONO、TAPE/DAT-1〕。 ●大型スピーカーターミナル。 ●極性表示付極太電源コード/ACアウトレット。 ●スピーカー・ポジションは、OFF、A、B、A+B。 ●余分な回路の経路による音質劣化を防ぐOFFポジション付RECセレクトター。 ●FET入力のMM/MC入力フォノ・イコライザー。 ●パネルはアルミ材を使用したグロッシェー&ヘアラインです。



〔新開発基板の採用により設計されたパワーアンプ部〕

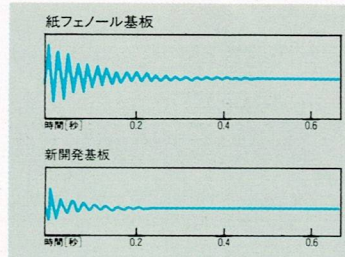
# AU-α607

α-X BALANCE  
INTEGRATED AMPLIFIER

標準価格 ¥79,800

105W+105W(6Ω)

〔パワーアンプ部〕 ●実効出力(10Hz~20kHz、両ch駆動)/105W+105W(6Ω)、90W+90W(8Ω) ●全高調波歪率(実効出力時)/0.003%以下(8Ω) ●混変調歪率/0.005%以下(8Ω) ●ダンピングファクター/80(6Ω) ●TIM歪(SAWTOOTH)/測定限界以下 ●スルーレイト/±180V/μsec(イコライザー部) ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz) PHONO(MM)/2.5mV(47kΩ)、PHONO(MC)/300μV(100Ω)、TUNER、CD、LINE、PROCESSOR/150mV(47kΩ)、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/150mV(47kΩ) ●PHONO最大許容入力PHONO(MM、新IHF、THD0.01%)/210mV、PHONO(MC、新IHF、THD0.1%)/21mV ●周波数特性(1W時) PHONO(MM)/20Hz~20kHz(±0.2dB)、CD、LINE、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/1Hz~300kHz(+0dB、-3dB) ●SN比(1W時) PHONO(MM)/88dB以上、PHONO(MC)/70dB以上、TUNER、LINE、CD/110dB以上、TAPE PLAY/DAT-1、2、3/110dB以上 ●トーンコントロールBASS最大変化量/±5dB(50Hz)、TREBLE最大変化量/±5dB(15kHz) ●ターンオーバー周波数/150Hz、7kHz ●サブソニック・フィルター/16Hz(-3dB、6dB/oct) ●ラウドネス/+5dB(50Hz)、+6dB(10kHz) ●オーディオミュート/20dB [その他] ●定格消費電力/240W ●寸法/448(W)×160(H)×441(D)mm ●重量/15.7kg

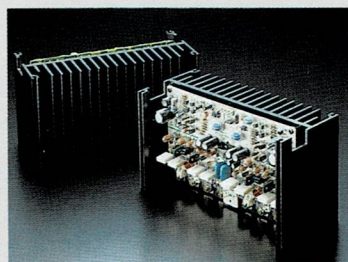


〔基板素材の振動減衰特性〕従来の紙フェノール基板に比べ、格段に優れた特性を実現した新開発基板。

が聴こえてくる。

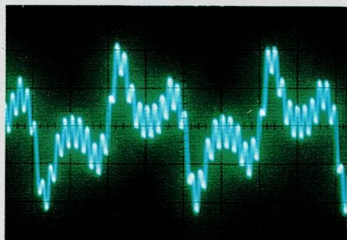


CD、DATなどの優れたソースから音楽をそのまま取り出し、再生すること。サンスイは近未来のオーディオの在り方を、こう考えています。原音、臨場感に加え、ミュージシャンの意図、ミキサーの思想やプロデューサーの意志まで、ソースに込められた音楽性を100%忠実に再生することです。そのためには、従来からあるピュア伝送の技術をさらに進化させると同時に、忠実再生を妨害するノイズ、振動を徹底的に排除しなければなりません。サンスイはオーディオの在り方を根本から見つめ直し、音楽の感動を伝えるための新技術を開発し、近未来に必要な技術を今実現しました。その成果は最初の一言から明らかです。

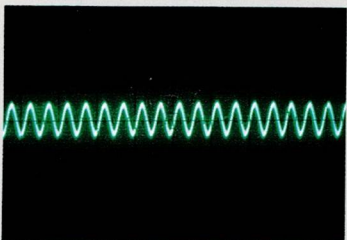


〔パワートランジスタをパワーアンプ基板の下部に取りつけたパワーブロック〕パワートランジスタから発生する振動のパワーアンプ部への影響を解消。

アンバランス伝送



バランス伝送

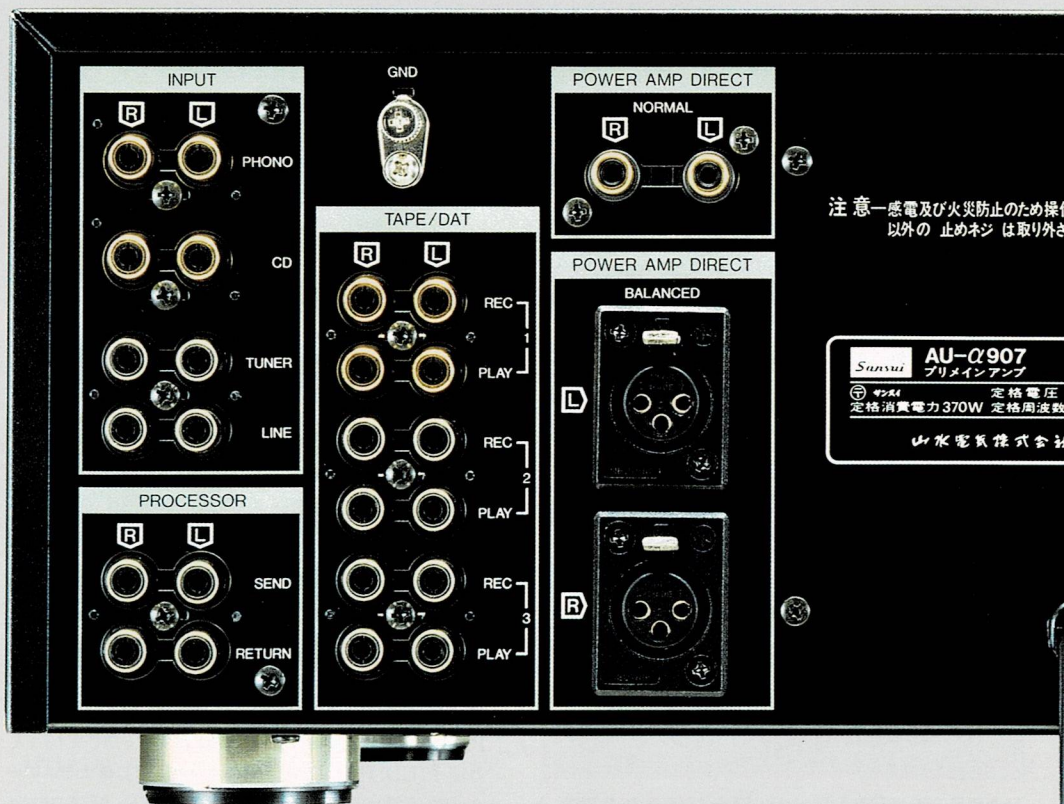


〔アンバランス伝送とバランス伝送の信号波形〕アンバランス伝送では外部ノイズの影響を受けますが、バランス伝送は美しい波形を保ちます(信号1kHz)。

### ピュア伝送・増幅の先進技術。 サンスイ独自の $\alpha$ -Xバランスサーキット。

従来のアンプは信号の $\ominus$ 側をアースと共通しているため、ここからハムやノイズがアンプに混入してきます。その代表がスピーカーの逆起電力による電流から起こるIHM(Interface Ham Modulation)歪です。 $\alpha$ -Xバランスサーキットは信号を完全にアースから独立。しかも、信号回路、電源回路、NFB回路にまで徹底して

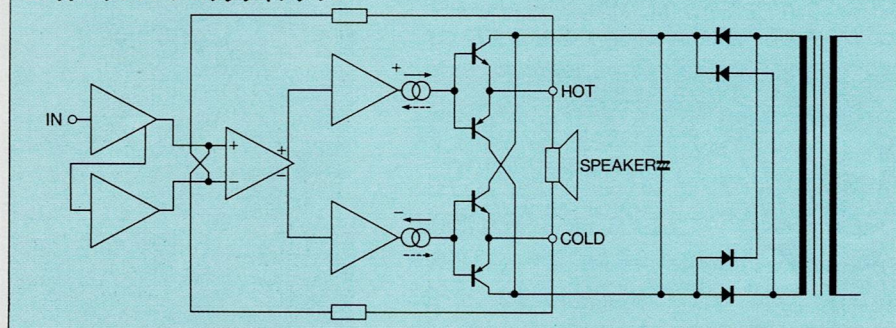
いますので、IHM歪などがなくなり、他に例のない高S/N感の実現に成功。しかも、プリ部にバランスアンプを搭載し、 $\alpha$ -Xバランス入力だけでなく通常入力も $\alpha$ -Xバランス伝送できます。さらに、 $\alpha$ -Xバランスサーキットはスピーカーの $\oplus$ 側、 $\ominus$ 側を各々専用のアンプでドライブするので、スピーカーの動きをアンプ側で完全制御できます。パッケージ・メディアに凝縮された音楽の本当の姿を、耳にすることができるのです。



注意一感電及び火災防止のため接続以外の止めネジは取り外さない

**Sansui AU-907**  
プリメインアンプ  
定格電圧 100V  
定格消費電力 370W 定格周波数 20Hz-20kHz  
山水電気株式会社

### $\alpha$ -Xバランス ブロックダイアグラム



ピュアソースは“そのまま”の増幅が理である。  
だから、パワーアンプダイレクト。

この入力は2系統があり、通常入力には一般のCDプレーヤーなどを、 $\alpha$ -Xバランス入力にはCD- $\alpha$ 907などの $\alpha$ -Xバランス出力を持つCDプレーヤーを接続して、ソースの音質を生かしたピュア増幅を行なえます。そして、プリメインアンプ用2連(インピーダンス:50k $\Omega$ )、ダイレクト・ポジション用4連(インピーダンス:5k $\Omega$ )、トータル6連ボリュームを専用開発。目盛りはプリメイン用、ダイレクト・ポジションを各々表示しています。

# 音楽のために溢れる技術。その成果は、



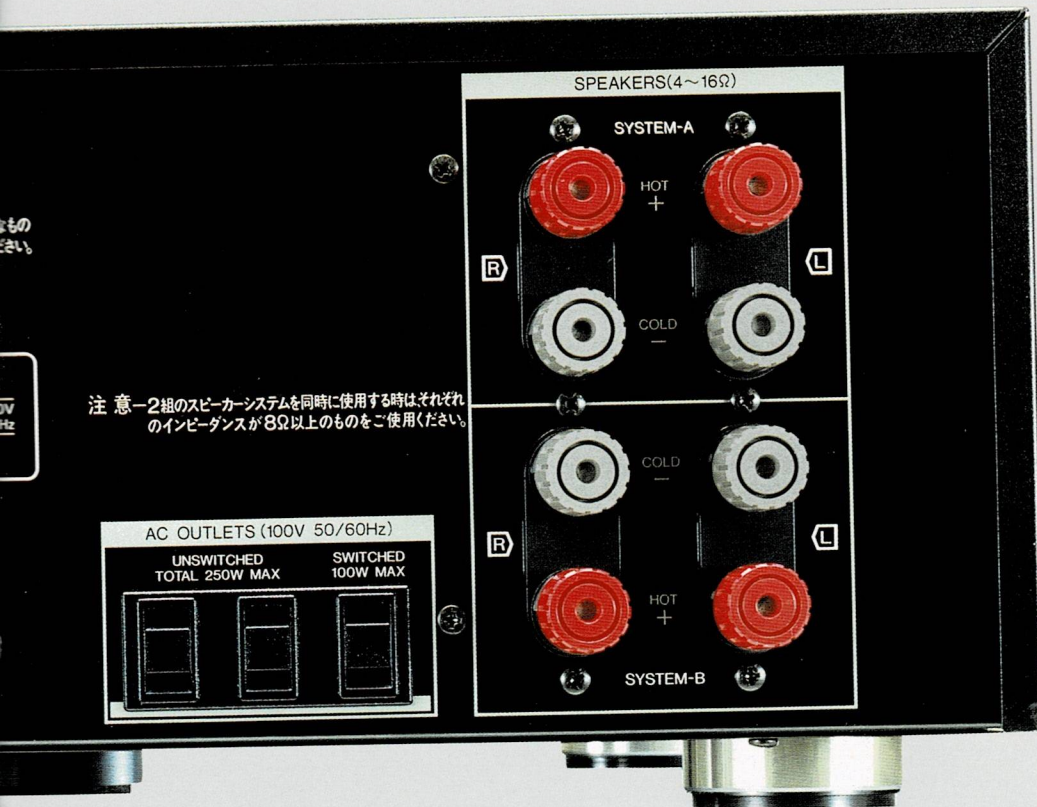
# (CIRCUIT TECHNOLOGY)

## CDサウンドの専用通路、 ピュア伝送志向のソース・ダイレクト。

すべての入力に対して、アクセサリ回路を経由せず、 $\alpha$ -Xバランスサーキットに直結できるソース・ダイレクトを搭載しました。CDの持つ高S/N感をそのまま増幅・伝送するのに最適な機能です。しかも、ソース・ダイレクトスイッチを入れたまま好みに合わせて、TREBLE、BASSのトーンコントロールも使用することができます。

## ただ一つしかない理想ポジションに、 各パーツは着座した。

パワートランジスタのように、振動・ノイズを発生するパーツは他に悪影響を及ぼさない位置に配する必要があります。そこで、パワートランジスタをパワーアンプ基板の下に取りつけ、アンプ部への影響を回避。同様に、すべてのパーツのポジションを十分に検討。類まれなる内美感は、合理的、先進的設計の結晶でもあります。

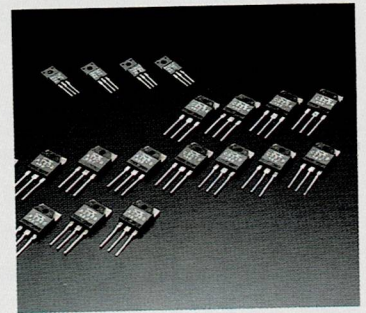


## CDプレーヤーとインターフェイスをとる $\alpha$ -Xバランス入力端子。

CD- $\alpha$ 907などの $\alpha$ -Xバランス出力を持つCDプレーヤーとサウンド・インターフェイスをとるのが、 $\alpha$ -Xバランス入力端子です。⊕、⊖、アースの3つの端子を持ち、 $\alpha$ -Xバランス伝送用キャノンケーブル (PS-01: 別売) でガッチリと接続。入力信号はパワーアンプダイレクトで、ピュア伝送・増幅。プレーヤーのアナログ・アンプからスピーカー・ドライブに至るまでを $\alpha$ -Xバランス伝送で貫き、高次元ピュア伝送を完成します。

## 信号を、そして音楽を大切に ワイヤード・ワイヤリング思想。

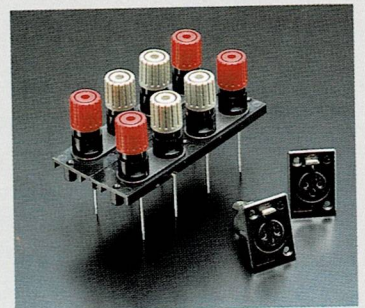
合理的な技術は時としてオーディオの最も大切な“音楽性”を見失ってしまいます。その最たるものが、プリント基板の乱用です。サンスイは音楽を追求し、信号系、電源系、アース系に、クロストーク対策として、また、高導電性を実現するため、積極的にワイヤーを使用しています。プリントッド・ワイヤリングより音質の向上が得られ、音楽の微妙なニュアンスをも表現。それが音楽に感銘という魅力を与える、とサンスイは考えています。



〔パワートランジスタ素子〕聴感を第一の基準に選  
び抜いたパワートランジスタ素子。試聴により厳選  
された素子が、サウンド・クオリティを高めています。



〔 $\alpha$ -Xバランス伝送用キャノンケーブル〕⊕、⊖、ア  
ースの $\alpha$ -Xバランス伝送用端子を結び、ソースの  
クオリティを生かすピュア伝送を実現します。



〔 $\alpha$ -Xバランス入力端子、大型スピーカータミナ  
ル〕音楽信号の入口、出口にも細心の注意を払い、  
音質重視設計を徹底しています。



〔バランス／ノーマルの2ポジションのパワーア  
ンプダイレクトとプリメインの切換え用セクター〕

# 最初の一音から明らかだ。



# (POWER SUPPLY TECHNOLOGY)

アンプ創りの財産を結集して誕生。  
実績が生きる超重量級電源。

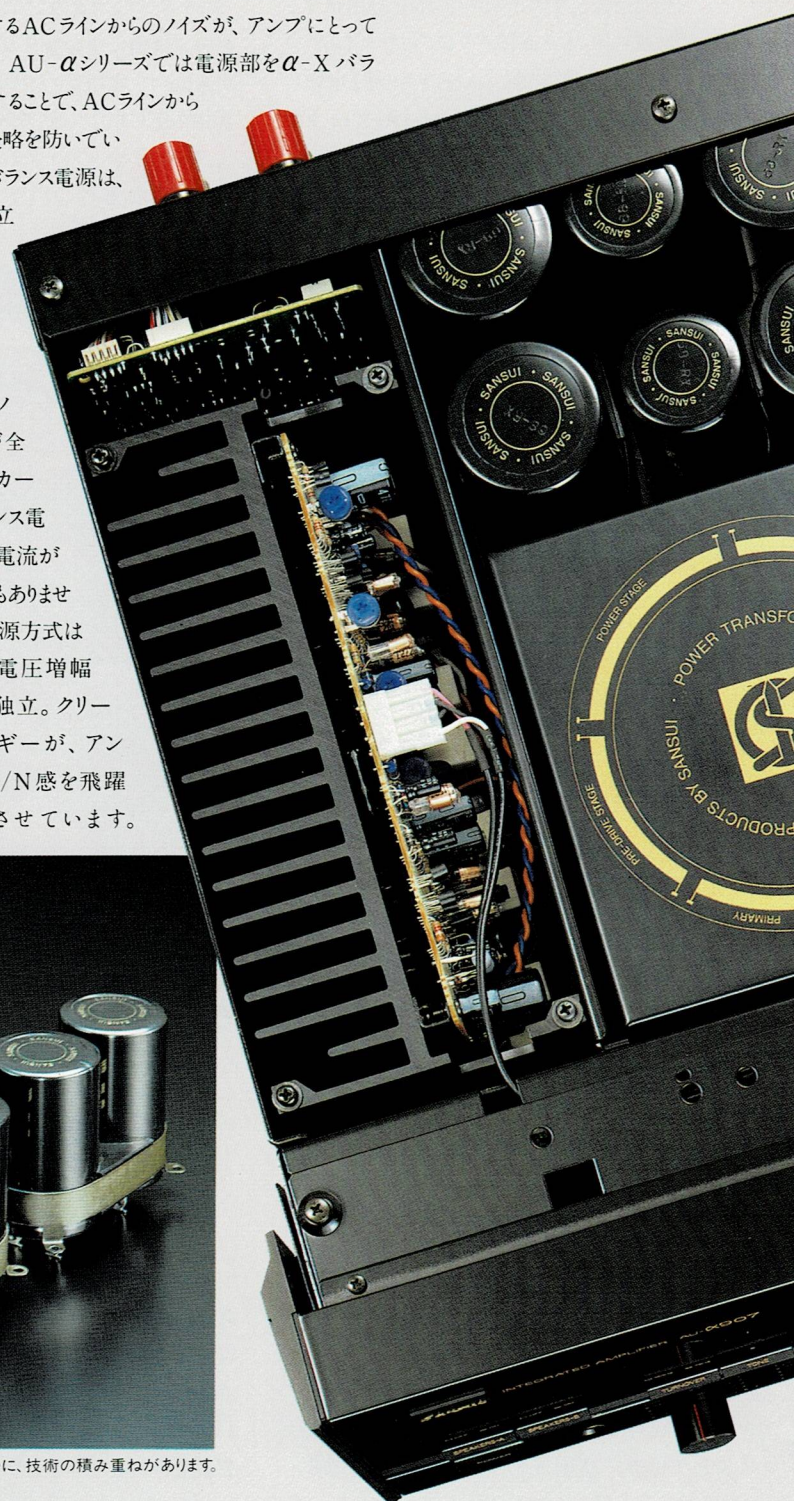
アンプ創りにおけるサンスイの伝統的な設計ポリシーのひとつが電源部重視。電源部は、アンプの心臓部として各段に強力な電流を送る最もベーシックなセクションであり、同時に音質を左右する重要な部分です。それだけに、電源トランス、コンデンサーにはたった一点の妥協さえ許されません。特性向上を図るためには、新素材の採用が考えられますが、その使用を決断するには数限りない試作、あくまでも客観的な試聴、そして膨大なデータの蓄積とその完璧な解析が必要です。良いアンプは決して一朝一夕では創り得ない理由がそこにあります。加えて、超低音域までフラットな特性を持つデジタル・サウンドの再生には、従来にも増して大きな、しかもクリーンなエネルギー供給が要求されます。新しい電源トランスとコンデンサーを時代が求めているのです。サンスイは永年培ってきたアンプ創りのノウハウを結集、進化させて、この要求に応えました。電源トランスでは、大きさ、コア材、巻き線の構成、構造、これ以上はないと思われるまで多角的に検討を重ね、限りなく理想に近い電源トランスをAU- $\alpha$ シリーズに与えました。コンデンサーについても、さまざまな最適化を施したオーディオ用電源コンデンサーを搭載。ダイオードは、高速タイプのパラ仕様をすべてのパートにわたり採用。デジタル・ソースに対する完璧な答えが、AU- $\alpha$ シリーズの超重量級電源部なのです。

電源という“門”をノイズから堅固に守る  
 $\alpha$ -Xバランス電源。

空气中を伝わってくる電磁波ノイズと並んで、電源部を通して侵入するACラインからのノイズが、アンプにとっては大敵です。AU- $\alpha$ シリーズでは電源部を $\alpha$ -Xバランス電源にすることで、ACラインからのノイズの侵略を防いでいます。 $\alpha$ -Xバランス電源は、アースとは独立してエネルギー供給を行ないますので、ACラインからのノイズの混入が全くなく、スピーカーへアンバランス電流やリップル電流が流れ込むこともありません。しかも、電源方式はパワー段と電圧増幅段とを分離独立。クリーンなエネルギーが、アンプ全体のS/N感を飛躍的に向上させています。



〔コア材から違う〕超重量級電源トランス、ビュアフォーカス/HS・コンデンサー〕パーツの一つ一つに、技術の積み重ねがあります。



## 音楽を追求して生まれてきた内美感。音



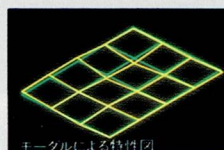
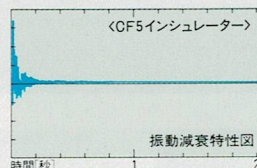
# (CONSTRUCTION TECHNOLOGY)

## 振動、ノイズに合理的に対応する 新開発ソリッド・シャーシ。

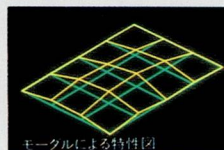
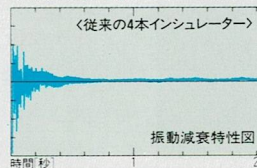
家電品にマイコンが多用されると、それらが発生する電磁波ノイズが空中を伝わり、アンプにノイズを与えます。一方従来は見落とされていたが、アンプ自身もパワートランジスタや電源トランスから、電磁波ノイズを発生しています。外部ノイズをアンプ内部に持ち込まず、内部から発生するノイズを他のパートや、外部に漏らさないシールド構造が必要になります。振動についても、ヒートシンカーなどから生じる振動を信号回路に伝えず、外来振動も遮断する高剛性構造が要求されます。外部に対しての、そして、内部に対しての振動対策、ノイズ対策。この2つの難問をもの見事に、しかも同時に解決するのが、新開発ソリッド・シャーシです。フロント部と両サイドに、外部パネルとは空間をおいて高剛性セパレーターをぐるりと設置。外部筐体の中にパーツを擁護する内部筐体があると考えください。さらに、内部筐体のボンネットとインシュレーターを直結するセパレーターを設け、アンプ内部の相互干渉を防止。これがソリッド・シャーシの全貌です。上下、左右の振動に対して、アンプ全体の構造を内部から、しかも立体的に高剛性化することで防振します。そのうえ、ソリッド・シャーシのセパレーターはシールド効果の高い高導電率素材を使用しているの、パーツ全体をシールド・ボックスに入れたかのような優れたシールド効果を発揮。大切な音楽信号をノイズから守り抜きます。

## シャーシ、底板を同時にホールド。 サンスイが誇るCF5インシュレーター。

アンプ本体をしっかり支えるため、CF5(シャーシ・フィクスト・5点支持)インシュレーターを新開発。底板に固定されていた従来のインシュレーターとは異なり、ソリッド・シャーシに直に固定されているので、底板をしっかりと固定し、全体的な剛性をアップしています。また、インシュレーターにかかる荷重を均等化して振動を防止するために、大型インシュレーターを5つ使用しています。重量が集中する電源部付近にコンプライアンスを持つ5番目のインシュレーターを配して、荷重バランスをとり、メカニカル・アースを実現しました。インシュレーターの素材も、振動特性の面から十分な検討を加えました。多角的なデータの積み重ねから誕生したCF5インシュレーターの抜群の耐振効果は、何よりも音質が雄弁に物語っています。



〔CF5インシュレーターの振動減衰特性、ディストーションのモデル解析〕設置環境から生じる底板の振動、歪を大幅に減少させています。



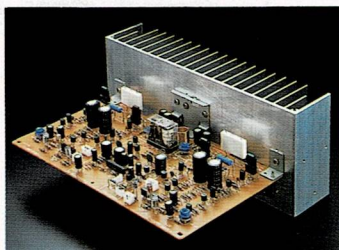
〔従来の底板固定4本インシュレーターの減動減衰特性、ディストーションのモデル解析〕大きな振動が、なかなか消滅しません。(当社比)

## 振動対策を徹底したボンネットの新しい形。 CF12ボンネット。

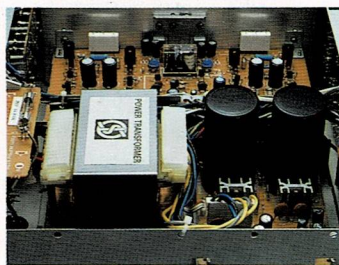
ボンネットはスピーカーからの音圧を受けて、共振しやすい部分。何らかの共振対策が必要です。この問題にサンスイは、新開発CF12(シャーシ・フィクスト・12点留め)ボンネットという答えを出しました。構造的解析結果から決定したコの字型剛性ボンネットを、従来よりもはるかに大型のネジを12本も使って、剛性の背骨とも言えるソリッド・シャーシに強固に固定。共振・振動を抑えています。このように、サンスイの無振動思想はあくまでもアンプ全体の高剛性化。部分ごとの剛性を高めても根本的な振動対策にはならないという見地から、ソリッド・シャーシを中心に、下からはCF5インシュレーター、上からはCF12ボンネットで、全構造の剛性を飛躍的に高めているのです。

楽に深く感謝したい。





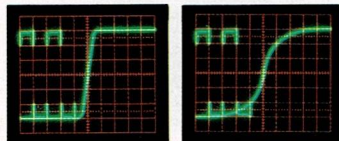
〔パワーアンプ部〕高信頼度設計を追求したパワーアンプ部。各素子を厳選し、信号系と電源系の相互干渉の影響を受けない設計を徹底しています。



〔重量級電源部〕トランスのコア材からコンデンサーに至るまで、サンスイならではの技術を惜しみなく投入した強力な重量級電源部。

AU-α507

従来モデル



〔スルーレイト〕 $\pm 150\text{V}/\mu\text{sec}$ という優れたスルーレイト特性を実現。鋭い立ち上がり、デジタルソースへのハイスピード対応が可能。

デジタル・ソースの忠実な再生は、アンプの持つポテンシャルが鍵を握ります。電源部重視、高剛性構造に徹した設計思想を受け継ぐAU-α507は、デジタル・ソースへの本格的な対応を実現。振動や電磁波のノイズを抑える高剛性ソリッド・シャーシ。クリーンで強力なエネルギー供給を可能にする重量級電源部を採用しました。スピーカーのドライバビリティを大幅に向上させ、優れたダイナミックパワーが引き出す音場感は、まさにエネルギーギッシュ。さらに6系統入力端子、 $\pm 8\text{dB}$ の最大変化量を持つトーンコントロール機能も装備。ソースの多様化に対応する使いやすさと高度なフレキシビリティを獲得しています。鏡面仕上げのアルミパネルに、入念な塗装を施したグロッキー・ブラックの気品。サンスイがアンプのクオリティをここまで高めました。ピュアオーディオのみずみずしい生命感が溢れ出します。

#### 過度応答性の極限に挑み、 低音域からの広大なダイナミックパワーを鳴らしきる。

350W+350W (2Ω)と、このクラスとしては余裕のダイナミックパワーを実現したAU-α507。低インピーダンス負荷においても、高いスピーカー駆動能力を発揮します。また、スルーレイト $\pm 150\text{V}/\mu\text{sec}$ により、優れた過渡応答特性を達成。測定限界域にまで抑え込まれたTIM歪。高調波歪、混変調歪を低減したサンスイならではのアンプテクノロジーをいかに駆使。低音域から力強く立ち上がるピュアなデジタルサウンドを再現します。

#### デジタル・ソースの クオリティに追従する重量級電源部。

電源部は、各段に強力な電流を送ると同時に音質を左右する心臓部。低域から広域までフラットな特性を持つデジタル信号を忠実に再生するために、膨大なエネルギーを供給するハイ・クオリティの重量級電源部です。また、オーディオ専用として特別に開発された10,000  $\mu\text{F} \times 2$  グレート・サプライ電源コンデンサーを採

用。ソースのクオリティに追従するクリーンで安定した電流が供給されます。さらに、音質劣化の原因となるトランス自身の不要共振をがっちり抑え込む防振材を採用し、重量級で大型の電源部構造を実現しています。

#### すぐれたアンプの基本は無振動。 高剛性構造がデジタルを伝える。

音質に悪影響を与える不要共振をがっちり抑え込むために、アンプ全体に高剛性思想を徹底しました。外部筐体の高剛性化はもちろんのこと、例えば、パワートランジスタの取り付け位置ひとつとっても、その発生する振動・ノイズが他に悪影響を与えないポジションに装着。部分的な高剛性化では無し得なかったトータルな外来振動および電磁波ノイズ対策により、大切な入力信号経路を守り、ピュアな音楽再生を可能にしました。

#### CDのクオリティをそのままパワーアンプ部へ。 ソース・ダイレクト。

デジタルソースの持つピュア・クオリティを損なうことなく伝送したい。このコンセプトをスイッチひとつで実現する

# 迫る、原音のダイナミズム。クライマックス





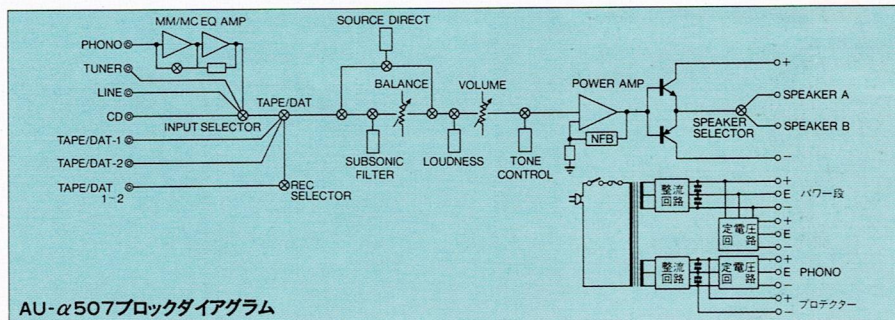
のがソース・ダイレクトです。通常入力の状態からスイッチを切換えるだけで、複雑なアクセサリ回路を経由せずに入力できます。CDに刻まれた音楽情報を生かきき、よりハイ・クオリティな音楽再生が可能となりました。

音質への徹底追求がパーツを磨き、美しいコンストラクションを生んだ。

アンプを構成する各パーツは、パワートランジスタからコンデンサーひとつに至るまで、数限りない試聴を繰り返し、ひたすら音質の追求を続けてセレクトしました。さらに、信号の伝送、増幅に機能的なポジションを検討し、サンスイならではのコンストラクションを実現しています。

ソースに合わせてフラットな状態へクイックに切換えられるデフイート付トーンコントロール。

ソース・ジャンルにより、トーンコントロールされた低域、高域の補正状態を簡単に元のフラットな特性に戻せるデフイート機能。BASS、TREBLEのポジションに



触れることなくフラットな状態との比較試聴も行なえます。

〔その他の特徴〕●6系統もの入力を装備。(CD、PHONO(MM・MC)、TUNER、LINE、TAPE/DAT-1・2 ●大型スピーカーターミナル。●極性表示付極太電源コード/ACアウトレット。●スピーカー・ポジションは、OFF、A、B、A+B。●余分な回路の経路による音質劣化を防ぐOFFポジション付RECセレクトター。●ハイゲインICによるMM/MC入力フォノ・イコライザー。●パネルはアルミ材を使用したグロッシー&ヘアライン。

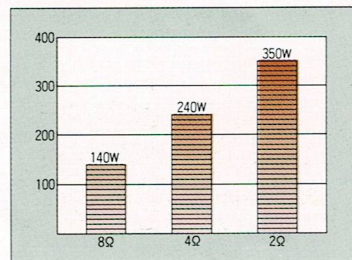


〔大型スピーカーターミナル〕極太スピーカー・ケーブルが接続可能な、大型スピーカーターミナル。

# AU-α507

INTEGRATED  
DC AMPLIFIER  
標準価格¥59,800  
90W+90W(6Ω)

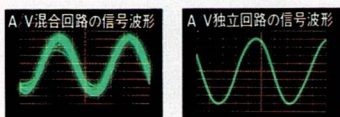
〔パワーアンプ部〕●実効出力(10Hz~20kHz、両ch駆動)/90W+90W(6Ω)、80W+80W(8Ω) ●全高調波歪率(実効出力時)/0.005%以下(8Ω) ●混変調歪率/0.005%以下 ●ダンピングファクター/100(8Ω) ●TIM歪(SAWTOOTH)/測定限界以下 ●スルーレイト/±150V/μsec(イコライザー部) ●入力感度/入力インピーダンス(1kHz) PHONO(MM)/2.5mV(47kΩ)、PHONO(MC)/200μV(100Ω)、TUNER、CD、LINE/150mV(47kΩ)、TAPE PLAY/150mV(47kΩ) ●PHONO最大許容入力PHONO(MM、新IHF、THD0.01%)210mV、PHONO(MC、新IHF、THD0.1%)25mV ●周波数特性(1W時)PHONO(MM)/20Hz~20kHz(±0.2dB)、CD、LINE、TAPE PLAY/1Hz~200kHz(+0dB、-3dB) ●SN比(1W時)PHONO(MM)/83dB以上、PHONO(MC)/70dB以上、TUNER、LINE、CD/110dB以上、TAPE PLAY/110dB以上 ●トーンコントロールBASS最大変化量/±8dB(100Hz)、TREBLE最大変化量/±8dB(10kHz) ●サブソニック・フィルター/16Hz(-3dB、6dB/oct) ●ラウドネス/±8dB(30Hz)+6dB(10kHz) ●定格消費電力/175W ●寸法/448(W)×135(H)×370(D)mm ●重量/10.2kg



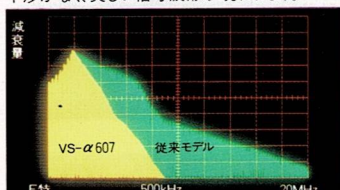
〔パワーリニアリティ〕低インピーダンス負荷時のドライバビリティを大幅に向上したダイナミックパワー。

## スの感動が伝わる。

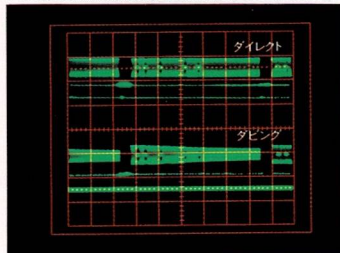




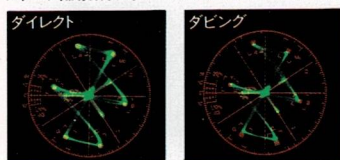
〔信号波形〕A/V独立回路の信号波形は、相互干渉がなく、美しい信号波形が現われます。



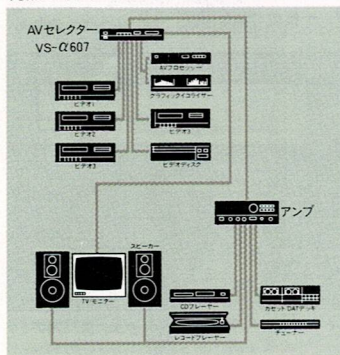
〔ラインノイズ・フィルター〕ラインノイズ・フィルターのノイズ低減効果。悪影響を及ぼすノイズをカット。



〔内蔵ビデオアンプの周波数特性〕内蔵ビデオアンプの周波数特性。劣化の少ないダビングを実現。



〔カラーベクトルスコープ〕赤／緑／青それぞれの光点が中央に合うと、鮮明画像が送り出される。



音楽信号と映像信号。この、性格のまったく異なる2つの信号をそれぞれ望ましい状態で伝送するには、互いの信号干渉を防ぐために、アイソレーションおよびビュア伝送が必要とされます。また、信号に悪影響を及ぼす外部ノイズの侵入からも守らなければなりません。単に入出力機器の選択だけでなく、音楽と映像をそれぞれの信号特性に合わせて美しく伝え、セレクトする。それが、AVセクターの大きな使命なのです。

#### 音楽／映像信号の干渉を排除する A/V独立回路。

独立設計の徹底化を図り、回路はもちろん回路基板までもシールド、分離。リアパネル端子のレイアウトも信号特性にあわせて音楽系と映像系で分割しています。

#### シンプルな回路で信号をノイズから保護。 ダイレクト・ポジション。

信号経路は短い方がいい。入出力経路が多いAVセクターではこの当然のことが困難でした。ダイレクト・ポジションにより、音楽／映像信号とも、プロセッサ回路などを經由せず、ソースを忠実に再生します。

#### 最大5台のビデオ機器を接続し、出力ソースを 自由に選べるモニターセレクト機能。

最大5台のビデオ機器の接続が可能。モニターセレクト機能でダビング中の映像や、ソース／ダビングされた映像を、インプットセクターで自由に選択できます。

#### 編集に便利なオーディオ・インサート機能、 プロセッサ・スイッチ。

オーディオ・インサート機能で、Hi-Fiビデオのエアチェックや、BGVの制作。A/V独立プロセッサ・スイッチにAVプロセッサAV-99、VX-99、グラフィックイコライザーSE-99、SE-88などを接続すれば、オリジナルビデオの制作やダビング編集が自在に楽しめます。

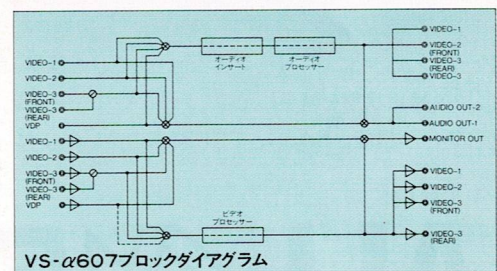
#### 接続機器にクリーンなエネルギーを供給する ラインノイズ・フィルター内蔵。

4つのAC-OUTLET(電源スイッチ連動2、非連動2)に、ACラインからのノイズ混入を防いでクリーンなエネルギーを供給。とくに、ラインノイズ・フィルターは500kHz～20MHzの高周波成分のノイズを大幅に低減します。

#### αの象徴、グロッシー・ブラックで AU-α、CD-αシリーズとフューチャー・コーディネート。

今までのオーディオでは味わえなかった、芸術の顔を持ったαシリーズ。研磨、塗装、焼付技術を惜しみなく注いで仕上げたアルミ材グロッシー・ブラック。価値あるブラックの輝きが新世代オーディオを予感させます。

〔その他の特徴〕●各ビデオ入力に、デイスクリット・ビデオアンプを内蔵。●主要端子は、接触抵抗による音質／画質の劣化を防ぐ金メッキ処理を採用。●極性表示付極大電源コード／ACアウトレット。●耐振特性に優れた新開発大型インシュレーターを使用。



# VS-α607

AUDIO VIDEO  
SELECTOR

標準価格 ¥39,800

〔オーディオ部〕●入力感度／インピーダンス(1kHz) 150mV(47kΩ) ●周波数特性(1W時)／5Hz～100Hz ●SN比(1W時)／100dB ●出力電圧／150mV(600Ω)〔ビデオ部〕●入力感度／インピーダンス(1kHz) 1.0Vp-p／75Ω(不平衡) ●ビデオ周波数特性(1W時)／5Hz～8MHz(－2dB) ●ビデオSN比(1W時)／75dB ●出力感度／インピーダンス(1kHz) 1.0Vp-p／75Ω(不平衡) ●寸法／448(W)×281(H)×80(D)mm ●重量／4.4kg

## 音楽、映像はそれぞれ美しくあって欲しい。



# (TOTAL COORDINATE)

CDプレーヤーで音を取り出し、アンプで増幅・伝送する。音質向上は音の入口から出口までトータルで考えなければ達成できません。この考え方をサンスイは「トータル・コーディネート」と呼び、これを実現する3つの技術を新開発。デジタル・オーディオの発展は、トータル・コーディネートから始まります。

## ピュア伝送の結晶 $\alpha$ -X バランス伝送で、サウンド・コーディネート。

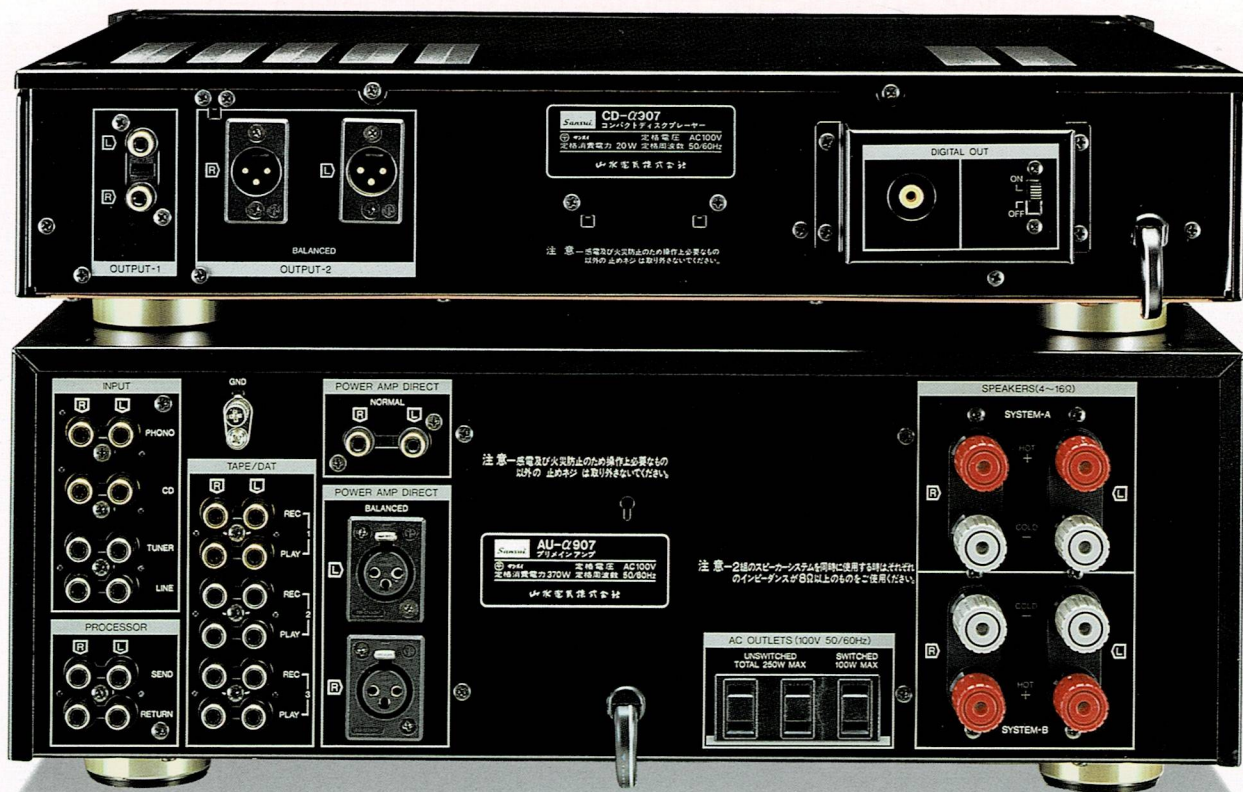
デジタル・サウンドにまさにふさわしいピュア伝送・増幅を実現する  $\alpha$ -X バランス伝送。サンスイはアンプ、CDプレーヤーに、この  $\alpha$ -X バランス伝送技術を結集しています。CD- $\alpha$ シリーズではノーマル出力の他に  $\alpha$ -X バランス出力を装備。AU- $\alpha$ シリーズはこの出力を受けて、 $\alpha$ -X バランス伝送・増幅。そして、スピーカー・ドライブ能力に優れる  $\alpha$ -X バランス駆動。入口から出口までの音の流れを  $\alpha$ -X バランスで貫き、サウンド・コーディネートを実現します。

## 振動・ノイズ対策もソリッド・シャーシで、コンストラクション・コーディネート。

振動やノイズがサウンド・クオリティを低下させてしまうのは、CDプレーヤーもアンプも同じです。そこで、CD- $\alpha$ シリーズ、AU- $\alpha$ シリーズに新開発ソリッド・シャーシを採用。全体構造の揺ぎない高剛性化と緻密な電磁波ノイズ・シールドを同時に達成しました。また、強固なメカニカル・アースをとるCF5インシュレーターや大型ネジでしっかりと留めるボンネットも共通で使用。コンストラクション・コーディネートがシステム全体の音質を大幅に向上させています。

## 高貴な輝きを放つグロッシェ・ブラックで、フィーチャー・コーディネート。

トータル・コーディネートという新コンセプトにふさわしい容貌として、AU- $\alpha$ シリーズ、CD- $\alpha$ シリーズにグロッシェ・ブラックを与えました。高貴な輝きを放つグロッシェ・ブラックは、フィーチャー・テクノロジーの芸術。他のオーディオとは明らかに一線を画しているのです。さらに、スイッチ・ポジションなども含め、統一感のあるパネルフェースを採用。グロッシェ・ブラックによるコーディネート。それは目にも新鮮な、オーディオ進化の新たな指標となるでしょう。



### $\alpha$ -X BALANCE COMPACT DISC PLAYER

CD- $\alpha$ 907.....標準価格 ¥150,000  
CD- $\alpha$ 707.....標準価格 ¥79,800

### $\alpha$ -X BALANCE INTEGRATED AMPLIFIER

AU- $\alpha$ 907.....190W+190W標準価格 ¥198,000  
AU- $\alpha$ 707.....160W+160W標準価格 ¥129,000  
AU- $\alpha$ 607.....105W+105W標準価格 ¥79,800

### INTEGRATED DC AMPLIFIER

AU- $\alpha$ 507.....90W+90W標準価格 ¥59,800  
3-WAY SPEAKER SYSTEM

SP-G88.....(サランネット付・1本) 標準価格 ¥59,800  
AUDIO VIDEO SELECTOR

VS- $\alpha$ 607.....標準価格 ¥39,800

DIGITAL SYNTHESIZER FM/AM TUNER

TU- $\alpha$ 707.....近日発売

TU- $\alpha$ 507.....近日発売

### $\alpha$ -X バランス伝送用キャンケープル PS-01



(1.5m、2本1組)  
標準価格 ¥10,000

CDプレーヤーの  $\alpha$ -X バランス出力端子とアンプの  $\alpha$ -X バランス入力端子を結びます。(アンプは AU- $\alpha$ 907、AU- $\alpha$ 707 等で使用可能)  
● スイス、ノイトリック社製金メッキ処理プラグ採用。  
● 高純度無酸素銅ケーブル使用。

# CDプレーヤーとアンプは一緒に進化の道を辿る。





●改良のため予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。●サンスイ製品には、一部を除いて保証書がついています。お買い求めの販売店で、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。  
●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後、ステレオは8年です。(その他のオーディオ製品は除く)  
●製品のお問い合わせは、本社インフォメーション・サービス(☎03-324-9781)へ。また、カタログのご請求は製品名ご記入の上、山水電気株式会社カタログ・センターへ。

お買い上げは信用のある当店で



**国巧堂 弘前代官町店**  
弘前市代官町3の1  
TEL (0172) 34-2606

**Sansui**

山水電気株式会社 〒168 東京都杉並区和泉2-14-1

1987年2月作成

(TD00EAD3)